

2月17日（水）本年度第30回（通算 第2811回）

「 RI 創立記念アクト合同例会 」 夜間例会

担当/理事会、青少年委員会

18時30分～釧路プリンスホテル

◆お客様と来訪ロータリアン

白幡 博君（第7分区ガバナー補佐・釧路 RC）、吉田 秀俊君（IM 実行委員長・釧路 RC）

◆メーカーキャップ

2 / 1 2 中島谷 友一朗君、濱屋 宏隆君（釧路南 RC）

2 / 1 7 足立 功一君（規定審議会）

◆出席報告【会員総数 74 名 免除 6 名 出席計算に用いた会員数 74 名】

本日の出席率 出席者 50 名 メーカーキャップ 3 名 出席率 71.6%

前々回の修正出席率 出席者 53 名 メーカーキャップ 5 名 出席率 78.3%

◆ニコニコ献金（今年度累計 416,000円）

- ・小野寺パスト会長よろしくお願ひします ～佐渡 正幸君
- ・本日の例会よろしくお願ひします ～中島谷 友一朗君、田村 憲一郎君
- ・小野寺さん聞かせていただきます ～石井 東洋彦君
- ・また1年続いてしまいました ～大友 淳君
- ・本日よろしくお願ひします。ご静聴お願ひします ～小野寺 英夫君
- ・結婚して6年経ちました ～大澤 恵介君
- ・あっという間の1年でした ～川村 真一君
- ・小野寺パスト会長、今日のお話楽しみにしています ～北川 健二君、鈴木 圭介君、高橋 哲也君
- ・RI 創立記念合同例会よろしくお願ひします ～高橋 貢君
- ・先にお花ありがとうございました ～富樫 孝之君
- ・RI 創立記念として ～中嶋 義昭君、村井 順一君
- ・誕生ケーキありがとうございました ～山本 大介君

◆会長挨拶

《佐渡会長》



皆さん今晚は、本日の例会に沢山のメンバーにお越し頂きまして誠にありがとうございます。

今日のご案内の通り「IR創立記念」と言う事であります。先ほど伊賀副会長からも説明が有りましたが、1905年2月23日にロータリーが誕生し、そして1953年8月18日に我が釧路北ロータリークラブが誕生したと言う経緯でございます。それぞれの個人にしても、法人にしても、団体にしても誕生日であるとか、設立日であるとか、創立日であるとか、やはりそういう部分につきましては、その創始の思い或いは今までの歩んできた道のり、そしてこれから歩んで行く道のりと言う部分をしっかりと考える一つの機会として非常に重要な日なのだと思います。

先日、2月11日に私の娘が7歳の誕生日を迎え、家族で誕生会をした時に娘に「何か一言あるか」と聞いた時に「昨年是一年懸命に頑張り逆上がりができるようになったので、今年はマット運動の後ろ回りが出来るように頑張りたい」と言いました。小さい子ながら1年間を振り返り、そして次の年の目標を建てて頑張っている姿を見て、老いては子に従えでは無いですが、子供から学ぶことが非常に有ると感じました。そういう意味も込めまして今日の例会は出来れば多くのメンバーで、このRIの創立記念と言う物を考えた中、これからの国際ロータリー、並びに釧路北ロータリークラブの歩みを皆さんと一緒に考えたいと言う思いで、100%を目指そうと言う例会をさせて頂いております。先程幹事からもお話が有りました通り、本当に多くの皆様に来て頂き、そして今日出席できない会員も率先して事前にメーキャップをしている所です。皆さんご存じの通り、前後1週間内でのメーキャップにおいて当例会の出席になりますので、これから1週間、出席できなかったメンバーには声掛けをして出来るだけ100%に近づけるように会長・幹事共頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

話は変わりますが、我々の奉仕活動の重要な部分である提唱している釧路北ローターアクトクラブ有りますので、青少年奉仕と言う部分でこれから一生懸命やっに行かなければならないと非常に感じている所です。先日、商工会議所青年部が東進スクールの林修先生をお呼びして、釧路文化会館で、約1300人を集め講演会を開催しました。市内の中学生500人を招待した中で、趣旨は青少年育成と言う事でお話を頂きました。その話の中で野村総合研究所の検証結果において、将来10年間で今ある職業の49%が無くなる可能性が有ると言う話が有りました。それで残る職業は何かと言う話の中で、まずは論理的な趣向力を持った職業、それからコミュニケーション能力のある職業が10年後残るであろうとお話ししていました。まさに人間でしか出来ない事、人間の心が重要とされる事、そして人間の本当の能力が生かされる事がこれから生きて行く術になるのだと言うお話を頂きました。我々もこれから青少年フォーラム・育成と言う部分において、それを十分に考えた中で進めて行きたいと思っております。また、我々の使命として次世代を担う青少年を育成する事が本当に重要であると思っておりますので、皆様にご協力を頂く事になると思っておりますのでよろしく願いいたします。

本日は、私が幹事をしていた時の小野寺パスト会長にこれから30分ほど講演を頂きますので、そのお話を頂いた中で、皆様と一緒にロータリー活動を頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

パーソナルボックスヘナシ

回覧として3点

1. 3月12日開催「IM」タイムスケジュール。
2. (公財)ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま 191」。
3. (一社)ロータリーの友事務所より2016-2017年度版 ロータリー手帳
お買い上げのお願い。購入希望される会員は申込用紙にお名前をご記入下さい。

報告として(口頭)2点

- ・先日、3月12日(土)に釧路RC様のホストによる「IM」開催の案内をFAXしてあります。出欠返信期日2月10日が過ぎておりますが、全員登録となっておりますので欠席で返信されていても当日参加出来る事になった会員は幹事までお知らせ下さい。当日のタイムスケジュールを回覧しておりますので確認下さい。

アカデミー研修は入会3年目までが対象となる旨の連絡がIM実行委員会より入っております。研修は当クラブ北川理事が講師を、その後のメインプログラムパネラーとしては本間(弘)理事がつとめます。

- ・2月6日(土)会長・幹事会にて(2案件共に7月に報告済み)
- ・RI2500地区第7分区飲酒運転撲滅及び交通事故防止キャンペーン

第9回パークゴルフ大会(ホスト:白糖RC)

日時:5月15日(日)9:30~

会場:しらぬかパークゴルフインチャロ

その後バーベキューを実施します(飲酒運転注意喚起)

- ・2015-16年度ロータリアンマスターズゴルフ大会

日時:5月21日(土)7:30~

場所:釧路CC東コース

2月10日、第1回実行委員会開催、当クラブから工藤会員、多田会員が参加。
今後、開催に向けて詳細が明らかになり次第、順次お知らせ・ご案内致します。

◆幹事報告

《中島谷幹事》



「 RI 創立記念アクト合同例会 」 夜間例会

小野寺パスト会長



小野寺パスト会長より「ロータリーの歴史」についての講和

皆様こんばんは

今日はローターアクトとの合同例会そして100%出席例会という事で沢山のロータリアンの皆様
が出席していきありがとうございます。

今日は本来足立 PDG がお話をすると聞いていましたんですが用事が入ったという事で、私に話しな
さいという事で思いがけず大変なことを引け受けてしまいました。一生懸命お話しますが、皆さんは
お酒を飲みながら気楽に聞いて下さい。眠い方はゆっくりお休みください。

さて、RI 創立記念日という事で、皆さんにロータリークラブがいつ、何処で、誰が始めたかご存知
でしょうかと質問しようかと思ったのですが、先ほど伊賀副会長が全部言ってしまったので、しま
せんがロータリーの歴史を知っておくと、よりロータリーが身近なものになり楽しくなるかもしれ
ません。ではお手元の年表に沿ってお話ししたいと思います。

1905年 『ロータリーの創立』2月23日ポール・ハリス(弁護士)、シルベスター・シール(石炭商)、
ハイラムショーレー(洋服商)、ガスターバス・ローア(鉱山技師)によりシカゴロータリークラブが設
立される。

私は今回ポール・ハリスの人となりに興味を持ちましたので少し詳しく触れてみたいと思います。

1868年4月19日にアメリカ、ウィスコンシン州ラシーンに生まれましたが、父親は世渡りが下手で
どちらかと言えば勤勉型ではなく、母は名家の出でありましたが少し浪費癖があったようで、3年後
に家が貧しかったという事で兄のセシルと共にバーモント州ウォーリングフォードの父方の祖父母
のもとに預けられ、のちに1885年バーモント大学に入学していますが、2年生の時に新入生をいじ
めたというあらぬ理由で退学させられています。そして翌1887年の秋にニュージャージー州プリン
ストン大学に入学、翌1888年にプリンストン大学を去りバーモント州ウエスト・ラットランドのシ
ェルドン大理石会社に一年間就職しております。これは敬慕した祖父が亡くなったためと言われて
います。翌1889年アイオワ州デモイでアイオワ州立大学法学部の入学準備のためセントジョン・ス
チブソン・ワイズナンド法律事務所で法律の実習を兼ねて勤務し1891年同大学法学部を卒業して

います。

こうしてみますと日本とアメリカの大学制度の違いだと思いますがびっくりしますが、後のほうで似たような経歴の方が出てきます。更にここから 5 年間アメリカそしてヨーロッパと旅に出ています。しかし決してお金持ちの旅ではなく、サンフランシスコ、ロサンゼルス、フロリダのジャクソンビルなど新聞社の通信員となったりして、生活の糧と旅行資金を稼ぎアメリカの諸州を遍歴し、水夫として英国へ渡りましたが間もなく船が米国へ戻ったため、再度缶詰工場で働き資金をため英国へ渡り見聞を広めました。又、1893 年にフロリダ州ジャクソンビルで彼の良き理解者であったジョージ・クラークが経営する大理石会社に販売員として勤務し、又、代表者としてスコットランド、アイルランド、ベルギー、イタリーの採石場をはじめヨーロッパ中を廻り見聞を広めたことがのちに国際ロータリー会長としての識見に大きなプラスとなったのは言うまでもありません。これらの旅については法学部の卒業式で同大学出身の弁護士が「旅行をして新しい体験を重ねる事によって人間の幅を広げる事が大切」と述べた事に触発された為だと言われています。そして 5 年の旅を終えたポールが 1896 年に法律事務所を開くために選んだ土地がシカゴでした。当時のシカゴは経済的には活気に溢れ、精神的には利己的で奔放さに溢れており、そのすさまじさに青年ポールが魅せられたわけがあります。

1906 年 シカゴロータリークラブ定款制定『相互扶助と親睦の概念』を導入。ドナルド・カーター直言により『社会奉仕の概念』を追加。

この《定款》は 1 月に制定され最初は 2 つの「綱領」からなり、1) 本クラブ会員の業務上の利益の増大。2) 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進でした。この年にドナルド・カーターにクラブへの勧誘を行ったところ『仲間内だけの幸せを願う対社会性のない社交クラブに持続性はない』と入会を断られたことから 3 つ目の綱領として、シカゴ市の最大の利益の推進、および市民の誇りと忠誠心を市民の間に広める事が追加されました。このドナルド・カーターと言う人はよほど人望の厚かった人のようで、又、当時は仲間内の社交クラブは他にも沢山あったようですが永く続くことはなく、この「社会奉仕の概念」が生まれたことにより、今日の「ロータリークラブ」の発展につながったと考えられています。

1907 年 ポール・ハリスがシカゴロータリークラブ 3 代目会長に就任。

ドナルド・カーターの説に触発されたポール・ハリスは第 3 代シカゴロータリークラブ会長に立候補し当選したわけですが、1. 社会に対する奉仕の提唱 2. 理念に合わせてのクラブの現状修正 3. 理想普及のための全米子クラブの設立。という事に異常な熱意を燃やし、親睦と相互利益を求めて集まった多くの会員のひんしゅくを買ったそうです。会員の欠席が続出し、ポールの議論で会場の空気が悪くなったと言われています。

では、当時の状況はと言いますと、シカゴクラブのパンフレットには会員相互の原価取引が原則であると明記され、統計担当の役職を設けて前回の例会以降に会員間で行われた取引状況を記入することが義務付けられていました。この事から各会員は莫大な利益を得たため、2 年後には会員数 150 名と言う盛況でした。

1908 年 サンフランシスコに 2 番目のロータリークラブが誕生。

この年、自ら求めて再度会長に就任したポールは折から入会した若手経営学の理論家アーサー・フレデリック・シェルドンを新設した宣伝拡大委員会の長に据え、またまた大いにハッスルし、熱意のあ

まりしばしば会合の時間が延長される結果となり、創立者ポール・ハリスに遠慮していた会員の怒りが爆発し、ついに総会決議をもってシェルドンは宣伝拡大委員長罷免の処置を受け、ポール・ハリスもまた健康を理由に会長職を辞しました。後継の宣伝拡大委員長に命ぜられた新入会のチェスリー・ペリーは、持ち前の事務管理能力を発揮して世界2番目のサンフランシスコロータリークラブを発足させました。

後年ポール・ハリスは「ロータリーが発足して間もないころの一夜、天の佑を得たという事実を経験した。それはこの運動に不滅の足跡を残したアーサー・フレデリック・シェルドンとチェスリー・ペリーがシカゴクラブに入会したことである」と述べております。

このように講釈師のように話してますが、「講釈師、見てきたような嘘を言い」という事もありますのでほどほどに聞いて下さい。

1910年 『全米ロータリークラブ連合会』(16RC、1,500人)誕生。第一回シカゴ大会開催。カナダウィニペグRC誕生、米国以外初、翌年度加盟。

クラブ発足の目玉であった親睦と、ドナルド・カーター、アーサー・フレデリック・シェルドン、ポール・ハリスの主張する奉仕哲学の解明、及びロータリーの拡大と言う、相反することに悩んだチェスリー・ペリーは、これを制度的に解決するために全米ロータリークラブ連合会の設立を提案し、これに成功します。連合会には 1.奉仕理論の解明 2.情報の媒介 3.ロータリーの拡大、この3つの事を委託することとなりました。ここからRIへと繋がるわけですが、決して各クラブの主人でもなければ指示命令を下す機関でもないことは記憶すべきです。しかし、合意にもとづく組織管理の権限は保有しているのです、その限りにおいて、各クラブがRIの監督を受けることは言うまでもありません。

ポール・ハリス初代会長、チェスリー・ペリー初代事務総長となりました。

1911年 シェルドンの標語 " He profits most who serves best "(最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる)、第2回ポートランド大会採択。

1912年 『国際ロータリークラブ連合会』に改称(50RC、6,000人)。

ポール・ハリス名誉会長となりました

1913年 水害援助拠金、身体障害児対策開始等『社会奉仕活動』の顕在化。

ロータリー年度(7月から6月)の表現始まる。

1914年 第1次世界大戦(1914~1918) イギリスとアイルランドで戦争避難民救済活動行う『国際奉仕』の芽生え。

1915年 『ロータリー倫理訓』の採択、標準クラブ定款と模範クラブ細則の採用。地区制度・ガバナー制度の制定。

会員が増え又、活動が広がる事に伴って「ロータリーの何たるかを知らしめる明文規定を作る必要がある」と考え、時の国際ロータリークラブ連合会会長ラッセル・グライナーにより議決を取ってア

イオワ州スーシティーロータリークラブに立案を委託した。世界中のロータリアンからロータリーの在り方、意見を求めその回答500件からロータリークラブの進路を選定したとされています。「全職業人を対象とするロータリー倫理訓」として採択されており前11か条からなり、人類文化史上に残るロータリーの偉大な業績と評価される格調高いものと言われています。残念なことに1980年に削除されております。

残念ながら今日の予定時間になりました。

終わりになりますが、足立 PDG から先日のクラブ協議会の講評の時に、今は国際会議に行っても『決議 23-34』の事を言う人は誰もいなくて「財団」と「会員増強」しか話さないとの話があり、2月3日の塚原 PDG の講話で『決議 23-34 をなくしてはならない』と言う強い言葉を聞き、平成22年に採択された時の情熱はもうないのかなと思いましたが、講話のあとの懇親会で塚原 PDG と足立 PDG が話し込んだ後に足立 PDG から「現在の立場でR I の批判をする事は一切できないのです。」と言われ、それを受けて塚原 PDG から「北RCが出した23-34の提案のように、只、言葉を伝えるだけでなく、行動を起こさなければならない事に改めて思いを馳せた」という言葉を聞き私の喉のつかえがとれたような気がしました。

なぜ今回、現在のR I の活動に反省を求める塚原 PDG に講師として白羽の矢を立てたのかと思った時、足立 PDG の気持ちの奥にあるものが少し見えたような気がしました。

組織の改革を行うには外から意見を述べる事と、内から意見を述べる事が有ると思いますが、後者を考えているのかもしれませんが。

我が北RCの足立 PDG はまだまだ進んで行く事と思います。

我々が送り出した足立 PDG でありますから、今後も送り出した以上「2階に上げて梯子をはずす」ことの無いよう責任を持って応援し続けなければならないと思います。

最後になりましたが、今回この話の為に勉強の機会を下さいました佐渡会長、中島谷幹事にお礼を申し上げ終わりいたします。

ご清聴ありがとうございました。

